



## CHAPTER 2

# 管理 Web インターフェイスについて

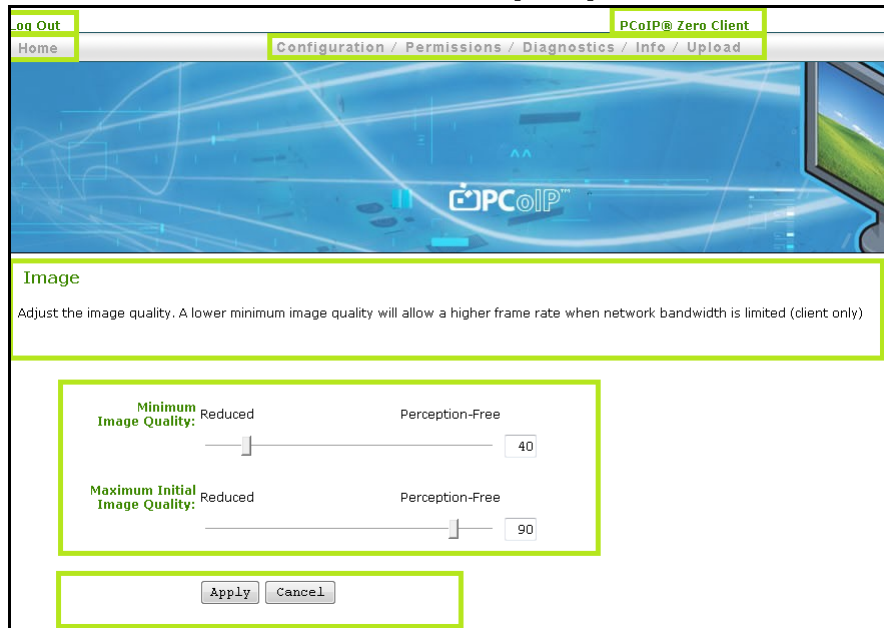
PCoIP 管理 Web インターフェイスを使用すると、インターネット ブラウザを使用して、デバイスをリモート操作することができます。

## ページ レイアウトについて

図 2-1 に、クライアント ページの例を示します。次の 7 つの基本領域があります。

- [Log Out] : 管理 Web インターフェイスからログアウトします
- [PCoIP Zero Client] : Cisco VXC PCoIP エンドポイント情報を表示します
- [Home] : クリックすると [Home] Web ページに移動します
- ドロップダウン メニュー : ページの先頭部分にあるツールバーから、[Configuration]、[Permissions]、[Diagnostics]、[Info]、[Upload] の各メニューを使用して、簡単にページにアクセスできます
- Web ページの情報 : 現在の Web ページのタイトルと要約を表示します
- データ フィールド : 設定可能または読み取り専用パスワード（必要に応じてインライン ヘルプが表示されます）
- [Apply]/[Cancel] : 編集可能なパラメータが含まれる Web ページには次の 2 つのボタンが存在します。
  - [Apply] : 編集されたパラメータをフラッシュに格納します
  - [Cancel] : 編集されたパラメータを現在フラッシュに格納されている値にリセットします

図 2-1 管理 Web インターフェイスの [Home] ページ



## サポートされる Web ブラウザ

Web ページ サーバは次の Web ブラウザでテストされ、互換性があります。

- Firefox 1.5、2.0、3.0、3.5、3.6
- Internet Explorer 6.0、7.0、8.0



(注) これ以外のブラウザも互換性がある場合があります。

管理 Web インターフェイスにログインする際に警告メッセージが表示されないようにするため、使用するブラウザに CA ルート証明書をインストールすることを強くお勧めします（「[CA ルート証明書のインストール](#)」(P.2-3) を参照してください）。

## 管理 Web インターフェイスの IP アドレス

管理 Web インターフェイスにアクセスするには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** クライアントの IP アドレスを参照します。使用される IP アドレスは、ご使用の IP ネットワーク内で IP アドレスがどのように決定されているかによって異なります。
  - 静的 IP アドレス：IP アドレスはハードコーディングされ、既知です
  - 動的 IP アドレス：IP アドレスは Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) サーバにより動的に割り当てられ、DHCP サーバから取得できます
- ステップ 2** IP アドレスをブラウザに入力します (https://192.168.1.123 など)。



(注) DHCP を使用している一部のネットワークは、PCoIP デバイス名を使用して、管理 Web インターフェイスにアクセスすることもできます。詳細については、「[デバイスへのカスタム情報の追加](#)」(P.4-6)を参照してください。

## 管理 Web インターフェイスのセキュリティ

管理 Web インターフェイスは、HTTP over an SSL socket (HTTPS) を使用します。管理パスワードなしではアクセスできません。HTTPS 接続は、Teradici 自己署名証明書を使用してセキュリティ保護されます。



(注) 一部の PCoIP デバイスはパスワード保護が無効になっており、ログインにパスワードが不要です。Cisco VXC Manager からパスワードを有効にしたり無効にしたりできます。

## CA ルート証明書のインストール

ブラウザのセキュリティに関する警告を防止するため、インターネットブラウザに認証局 (CA) ルート証明書をインストールすることができます。Internet Explorer 7 および Firefox に証明書をインストールする手順を、次の項で説明します。

### Internet Explorer への CA ルート証明書のインストール

#### 手順

- ステップ 1 [Tools] メニューを開いて、[Internet Options] を選択します。
- ステップ 2 [Content] タブをクリックして、[Certificates] を選択します。
- ステップ 3 [Trusted Root Certification Authorities] タブで [Import] を選択します。
- ステップ 4 画面の指示に従って証明書をインポートします。証明書ファイルはファームウェア リリースに含まれています。このファイルは `cacert.pem` という名前です。Trusted Root Certification Authorities 証明書ストアを使用している必要があります。

### Firefox への CA ルート証明書のインストール

#### 手順

- ステップ 1 [Tools] メニューを開いて、[Options] を選択します。
- ステップ 2 ページの先頭にある [Advanced] アイコンを選択します。
- ステップ 3 [Encryption] タブで、[View Certificates] を選択します。
- ステップ 4 [Authorities] タブで、[Import] を選択します。

- ステップ 5** 画面の指示に従って証明書をインポートします。証明書ファイルはファームウェア リリースに含まれています。このファイルは **cacert.pem** という名前です。[Trust this CA to identify web sites] というラベルのオプションを選択します。

## ログイン

管理 Web インターフェイスにログインするには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** [Log In] ページにパスワードを入力します。デフォルト値は空 ("" ) です。

図 2-2 Web のログイン ページ (クライアント)



- ステップ 2** デバイスが自動的にログアウトするまでの時間を変更するには、[Idle Timeout] フィールドを次のいずれかの値に設定します。

- 1 minute
- 5 minutes
- 15 minutes
- 30 minutes
- Never

- ステップ 3** [Log In] をクリックします。

デバイスに最初にログインしたときに、[Home] ページが表示されます。このページにはデバイス ステータスの概要が表示されます。ファームウェアをデフォルトに設定すると、最初にログインした際に [Initial Setup] ページがオプションで表示されます。



**(注)** 一部の PCoIP デバイスはデフォルトでパスワード保護が無効になっており、ログインにパスワードが不要です。[Log In] ページのパスワード保護は、Cisco VXC Manager を使用して有効にしたり無効にしたりできます。詳細については、『Administration Guide for Cisco VXC Manager』マニュアルを参照してください。

ログインしようとして警告メッセージが表示された場合は、そのデバイスでセッションがすでに進行中です。同時にデバイスにログインできる管理者は 1 人だけです。すでに進行中のセッションにログインすると、そのセッションは終了します。

パスワードの変更について詳しくは、「[デバイスのパスワードの更新](#)」(P.4-29) を参照してください。

## [Home] ページの表示

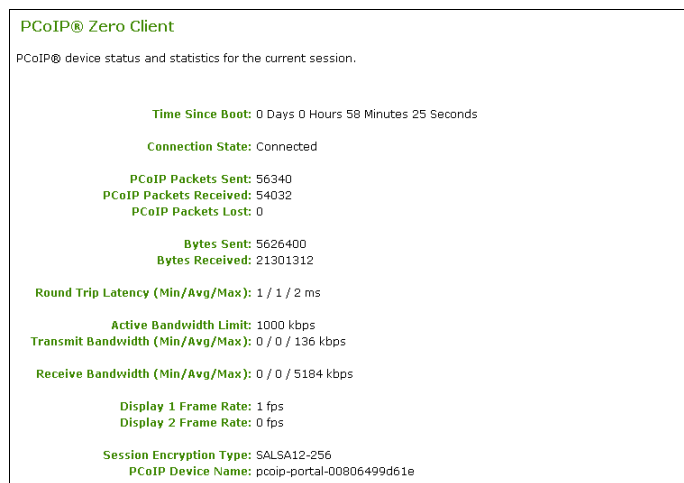
[Home] ページには、クライアントの要約が表示されます。管理 Web インターフェイスに最初にログインしたときに、[Initial Setup] ページが表示されます。[Home] ページは、その後のセッションごとに表示されます。メニューバーの左隅にある [Home] リンクをクリックすると、[Home] ページが表示されます。



(注)

[Reset Statistics] ボタンをクリックすると、[Home] ページでレポートされる統計情報もリセットされます。統計情報のリセットの詳細については、「[PCoIP プロトコルの統計情報の表示](#)」(P.4-39) を参照してください。

図 2-3 [Home] ページ



[Home] ページに表示される情報フィールドを、表 2-1 にまとめます。

表 2-1 [Home] ページのパラメータ

パラメータ	コメント
Time since boot	PCoIP プロセッサの稼働時間（「 <a href="#">デバイス プロセッサのリセット</a> 」(P.4-43) を参照）
Connection State	可能な状態：Disconnected、Connection Pending、Connected（「 <a href="#">PCoIP プロトコルの統計情報の表示</a> 」(P.4-39) を参照）

表 2-1 [Home] ページのパラメータ (続き)

パラメータ	コメント
Packet Statistics	送信パケット数 (「PCoIP プロトコルの統計情報の表示」(P.4-39) を参照)
	受信パケット数 (「PCoIP プロトコルの統計情報の表示」(P.4-39) を参照)
	損失パケット数 (「PCoIP プロトコルの統計情報の表示」(P.4-39) を参照)
Byte Statistics	送信バイト数 (「PCoIP プロトコルの統計情報の表示」(P.4-39) を参照)
	受信バイト数
Round Trip Latency	ネットワークのラウンドトリップ遅延の最小、平均、最大を概算で示したものの。たとえば、クライアントから仮想マシンまでと、クライアントへの戻り時間などです (「PCoIP プロトコルの統計情報の表示」(P.4-39) を参照)
Bandwidth Stats	[Active bandwidth Limit] は、PCoIP プロセッサが生成する可能性のある帯域幅です (「PCoIP プロトコルの統計情報の表示」(P.4-39) を参照)
	[Transmit Bandwidth] は、送信されたトラフィックの最小、平均、最大値です (「PCoIP プロトコルの統計情報の表示」(P.4-39) を参照)
	[Receive Bandwidth] は、受信されたトラフィックの最小、平均、最大値です (「PCoIP プロトコルの統計情報の表示」(P.4-39) を参照)
Display Frame Rates	PCoIP プロトコルによるビデオ コンテンツの表示速度です。たとえば、何も変更がなければ、Frame Rate は 0 fps です (「PCoIP プロトコルの統計情報の表示」(P.4-39) を参照)
Session Encryption Type	デバイスに設定される暗号化の種類。オプションには [AES-128-GCM] と [SALSA20-256-Round 12] があります (「接続の設定」(P.4-17) を参照)
PCoIP Device Name	デバイスの論理名。  このフィールドは、DHCP が有効であり、システムが DNS サーバへのホスト名の登録をサポートするように設定されている場合に、クライアントが DNS サーバに登録する名前です。

## 管理 Web インターフェイスのメニューについて

管理 Web インターフェイスには次の 5 つのメニューがあり、さまざまな設定ページやステータス ページにリンクすることができます。

- **Configuration** : このメニューに含まれる項目によって、ネットワーク設定、言語、セッション パラメータなど、デバイスのさまざまな部分を設定することができます。
- **Permissions** : このメニューに含まれる項目によって、USB、音声、電源に対するクライアントの権限を設定することができます。

- **Diagnostics** : このメニューに含まれる項目によって、デバイスのどらブルシューティングを行うことができます。
- **Info** : このメニューに含まれる項目によって、デバイスに現在接続しているファームウェアの情報とデバイスを表示することができます。
- **Upload** : このメニューに含まれる項目によって、新しいファームウェアのバージョンと OSD ロゴをデバイスにアップロードできます。

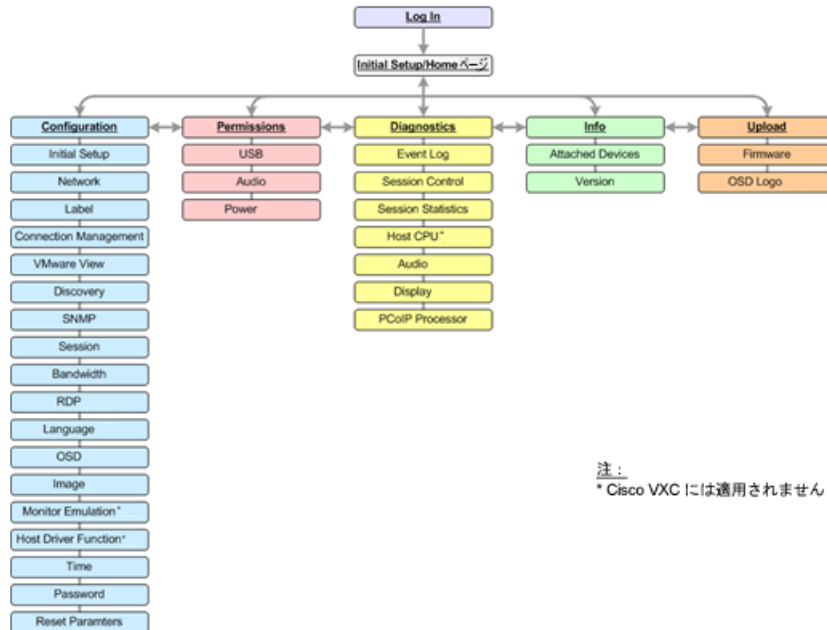
図 2-4 に、管理 Web インターフェイスで使用できる Web ページを示します。



(注)

アスタリスク (\*) の付いたページは Cisco VXC に適用されません。

図 2-4 管理 Web インターフェイスについて



注：  
\* Cisco VXC には適用されません

